

令和 2 年度

事業報告書

自：令和 2 年 4 月 1 日
至：令和 3 年 3 月 31 日

一般社団法人まちづくり伊達

令和2年度 一般社団法人 まちづくり伊達
事業報告書

1 事業概要

当社は、「伊達地域まちづくり活性化事業」の業務委託を伊達市から受託し、地域の活性化を目指し地域資源を活用した新たなまちづくり事業を官民連携により行ってきた。

当社は、平成29年に天王通り商店街の空き店舗を「まちの駅」として認定を受け、地域の交流拠点、憩いの場として活用し、情報発信や旧伊達公民館跡地の利用、地域の活動団体との連携や商店街との連携協力により、下記の4項目を事業の柱として社団目的達成のために活動している。

- 1 官民連携まちなか活性化事業
- 2 官民連携まちなか再生社会実験事業
- 3 官民連携まちなか再生推進事業
- 4 健幸に満ちた誇れる地域づくり・まちづくり事業

しかしながら、令和2年度は、当初から世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、各種イベント開催を自粛せざるを得ない状況が続くなか、感染防止対策を講じながら事業を推進してきた。

2 理事会等の開催

(1) 理事会

○第1回（第11回）理事会 令和2年6月18日 開催

議案第1号 令和元年度事業報告の承認について

議案第2号 令和元年度収支決算報告の承認について

議案第3号 令和2年度入会金及び会費について

議案第4号 監事候補者の選任について

議案第5号 令和2年度事業計画及び収支予算について

議案第6号 令和2年度通常総会の日時及び場所並びに付議案件について

報告第1号 重要事項及び業務報告について

○第2回（第12回）理事会　令和3年3月5日　開催

議案第7号　令和3年度まちづくり事業の骨格について

報告第2号　伊達地域を取り巻く環境について

報告第3号　伊達市一般会計当初予算について

○第3回（第13回）理事会　令和3年3月30日　開催

議案第8号　一般社団法人まちづくり伊達特別雇用職員の処遇に関する規程の制定について

議案第9号　令和3年度事業計画(案)及び収支予算（案）について

報告第4号　重要事項及び業務報告について

(2) 決算監査　令和2年　5月25日　開催

(3) 通常総会　令和2年　6月29日　開催

議案第1号　令和元年度収支決算報告の承認について

議案第2号　令和2年度入会金及び会費について

議案第3号　監事の選任について

報告第1号　令和元年度事業報告について

報告第2号　令和2年度事業計画及び収支予算について

3 官民連携まちなか活性化事業

(1) 起業者や後継者の育成事業

①起業者等への支援

ア 「一社）だてものや」で販売宣伝している「伊達市の日本酒」の試飲会イベントを令和2年12月19日、20日に開催し事業支援した。

この社団の地元産ワインやリンゴを搾ったシードルなどの製品についても店内展示を行い販売支援している。



イ 一社）青柳陽一写真学校社団設立の令和2年9月末まで、当まちづくり伊達2階事務スペースを提供し、設立準備事務等の支援をした。

ウ まちなかカフェ「ふらっと」を利用する起業希望者へ調理場や客席を提供し、営業活動の課題点などについて検討を行い起業支援している。

エ 手づくりパンの製造販売で起業を検討していた「麦々工房」へ、まちの駅での委託販売による支援をしている。当初、天王通りでの営業も検討したが自宅改装による喫茶&手づくりパンの「おうちカフェ」を開業した。

(2) 商店街イベント事業の実施と支援

①商店街感謝市事業の支援（毎月15日）

・毎月15日に行う伊達町中央商店会の感謝市事業について、周知用広告チラシにまちの駅の紹介やイベント開催の記事を掲載し感謝市を盛り上

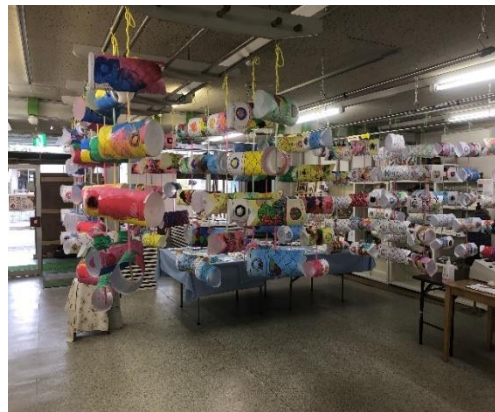
げている。

また、3月15日には天王通り商店街スタンプラリー事業を実施し、商店街の店舗巡りによる販売アップにつなげた事業を実施した。

内容は、事業参加店のなかの3店舗からのスタンプ押印により事業参加店で利用できるお買物券を貰えるもので、1日だけの事業ではあるが53名が参加した。

②端午の節句事業の実施（5月5日）

・従来の各店舗による柏餅による集客事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年は中止としたが、伊達認定こども園と伏黒幼稚園の園児による「こいのぼり作品」をまちの駅に展示し、市民に披露した。



③花市事業の実施（8月12日）

天王通り商店街の毎年恒例事業の「納涼盆踊り」が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年は中止したが、密を避けながらお盆を控えた8月12日に「花市事業」を実施した。

事業参加店がお盆用のサービス品を準備し、社団がかき氷のサービスや「射的」「輪投げ」など子ども向けのゲームを行い、景品として商店街の商品を準備することで、商店街を回遊できるイベントを行った。

④年末年始の天王初市事業の実施と支援（1月2日, 3日）

年末年始の売り出し事業に参画し支援した。この事業は、天王通り商店街の参加店において、12月15日から年末の売り出しを始め、買い物額に応じてサービス券を配布した。初市となる、1月2日、3日は、サー

ビス券3枚で1回の抽選を行い、参加店で利用できるお買物券などを提供した。このサービス券は7,500枚発行し、307,000円相当のお買物券を提供し277,000円分が利用された。

本年度は、参加店からの協賛品を箱詰めした福袋（福箱）を販売し今年度の健幸と繁栄を期した。



⑤まちなかイルミネーション事業の実施（12月12日から翌2月末日）

伊達町マルシェ実行委員会と伊達町中央商店会、当社団が共催で行っている健幸都市事業の伊達マルシェ事業(昼マルシェ・夜マルシェ)について、準備を進めていたが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため関係団体と協議し令和2年は中止した。

また、伊達町マルシェ実行委員会と伊達町中央商店会、当社団が共催で実施してきた、まちなかイベント広場へのイルミネーションの設置及び点灯は、12月12日（土）から令和3年2月末まで実施した。

新たな天王通り商店街の冬の名物として、多くの親子連れなどが訪れていた。



伊達駅前にもイルミネーションを設置

本年度に完成したＪＲの伊達駅前改修に伴う駅前広場ロータリーへイルミネーションを設置した。



伊達駅の利用者からは伊達駅に降りた時今までは寂しかったが、イルミネーション点灯により明るく賑やかで心地よいとの感想が寄せられ、伊達駅のイメージアップに繋がった。

これは、伊達市都市整備課と各種伊達町ライオンズクラブ、伊達町マルシェ実行委員会、駅なかププラザ直売所、一社）まちづくり伊達が協議し実施した。

点灯期間は、12月12日から令和3年2月末日まで実施した。

⑥商店街の除雪作業の実施

降雪時に商店街における買い物客の利便性向上のため商店街前歩道の除雪作業を実施した。

また、イベント広場等の商店街の共同駐車場の除雪を福島信用金庫伊達支店の方々と行い、商店街利用者の利便に供した。

⑦ひな祭り事業の実施(3月2日,3日)

この事業は、商店街の事業参加店が特販品を準備するとともに、お客様に日頃の感謝を込め桜餅や桃の切り花を提供するもので、当社は、より多くの集客のため販促品（さくら餅とうぐいす餅と桃の花のセット:無料）を準備した。2日間の各店舗への来客数は250名を超えイベントによる呼び込みは功を奏した。さら



に、伊達こども園と伏黒幼稚園のひな人形の作品を3月10日から3月25日までまちの駅に展示した。また、つるし雛を地域の愛好家の方から借用

し展示した。展示最終日まで、多くの親子連れやお孫さんの作品を見る方々や地域の方が来場した。

2 官民連携まちなか再生社会実験事業

(1) 「まちの駅」運営事業（空き店舗活用事業）

①まちの駅の開設

平成 29 年 5 月から天王通り商店街の空き店舗を賃借し、市民が楽しみ、会話し、休憩できる場所、情報の発信を行う「まちの駅」を開設し、市民交流の拠点となっている。

ここでは、卓球台等を設置し親子や子どもたちが放課後の居場所として友達同士で利用している。特に、春休みや夏休み等の長期休業時には子どもたちの利用が特に多くなっている。



また、休憩スペースの確保やお茶、コーヒー等を無料で提供しており、年間約 3,000 人余の利用があった。

元伊達幼稚園で使用していたピアノを施設内に移設し、まちなかピアノとしての利用を期待している。



②まちなか図書館の設置

市立図書館の「伊達文庫」や、市民から提供を受けた書籍やコミック本など500冊を擁し市民の希望により貸し出しもしている。



③地域団体への会議集会場所として提供

地域の町内会や高齢者団体、福祉団体、PTAなどの団体に年間60日程度、役員会や総会、会議等の利用に無料で貸出ししている。

④まちの駅としての情報発信

まちの駅の情報基地として各種の情報収集に努め、行政情報や各種フリーペーパー、民間情報誌等を独自の区分けした棚等に備えて提供している。また、「街・だて」として、「まちの駅 まちづくり伊達」の事業内容を広く市民に知っていただくために情報発信している。これらは、伊達町中央商店会が発行する感謝市チラシの裏面を活用し、イベント情報やまちの駅の事業内容などについて発信している。

街・だて まちづくり伊達

まちなかカフェ「ふらっと」 営業中！
新型コロナウイルス感染症防止の「新しい生活様式」により営業しています。
1 入館時に手洗いの消毒をお願いします。
2 密接・密集を避けながら、席の間隔を空けてご利用いただけます。
3 体調不良の症状の兆しがある場合は来店を控えてください。
4 飲食店以外ではマスクの着用をお願いします。

火曜日 甘味処 10:30～16:00
季節限定のデザートと販売
水曜日 スイカゼ 11:00～14:00
デザート
木曜日 甘味処 11:30～14:30
デザート、お菓子販売
金曜日 甘味処 11:00～14:00
デザート、お菓子販売

まちなか図書館 開館中！
新型コロナウイルス感染症防止の「新しい生活様式」により営業しています。
1 入館時に手洗いの消毒をお願いします。
2 密接・密集を避けながら、席の間隔を空けてご利用いただけます。
3 体調不良の症状の兆しがある場合は来店を控えてください。
4 飲食店以外ではマスクの着用をお願いします。

まちなか図書館 開館中！
新型コロナウイルス感染症防止の「新しい生活様式」により営業しています。
1 入館時に手洗いの消毒をお願いします。
2 密接・密集を避けながら、席の間隔を空けてご利用いただけます。
3 体調不良の症状の兆しがある場合は来店を控えてください。
4 飲食店以外ではマスクの着用をお願いします。

まちなか図書館 開館中！
新型コロナウイルス感染症防止の「新しい生活様式」により営業しています。
1 入館時に手洗いの消毒をお願いします。
2 密接・密集を避けながら、席の間隔を空けてご利用いただけます。
3 体調不良の症状の兆しがある場合は来店を控えてください。
4 飲食店以外ではマスクの着用をお願いします。

天王通り商店街 初天王市
令和3年 正月2日(土)3日(日)
抽せん会場：まちなか駅 まちづくり伊達 午前9時30分～午後3時00分

★天王賞 5,000円分
★1等賞 2,000円分
★2等賞 1,000円分
★3等賞 500円分
★お年玉賞 天王銭(無田神社の祈願銭)

新型コロナウイルス感染症予防の取り組みについて
天王通り商店街では、新型コロナウイルス感染症防止のため日々消毒や清掃に努めております。

⑤ホームページ等による情報発信

ホームページ (<https://machidukuridate.com/>) により、社団情報やイベント情報、まちなか情報などを発信している。
また、地域内の関連団体等の紹介情報も掲載している。

⑥ハンドメイドレンタルボックスの設置

「ハンドメイドレンタルボックス」を設置し、市内のハンドメイド制作者の作品を展示と委託販売をしている。レンタルボックスの利用者は、3月末現在5名で、季節感のある作品などの購入が多い。

出展者からは、レンタルボックスの使用料と販売手数料を頂戴している。



⑦おすそ分け市場の開設

朝採り新鮮野菜等を地域の皆様に提供し、商店街に足を運んで頂くような仕組みで行っている。主婦等が、新鮮野菜を求め来所することも多くなっている。出荷者からは、10%の販売手数料を頂戴している。



⑧手作りパンの委託販売

前出の起業支援をしている手づくりパン店のパンをまちの駅で委託販売している。販売日は、火曜日と土曜日で、食パンなどを主に販売している。委託者からは、5%の販売手数料を頂戴している。



⑨手づくりマスクの製作と販売

新型コロナウイルス感染症防止対策として必携のマスクについて、昨年来、ハンドメイドレンタルの出品者などによる手づくりマスクを販売している。

地域内の事業所で製造された「伊達マスク」やニット事業所のマスク、刺し子織生地によるマスクなども販売している。販売に際し、10%の販売手数料を頂戴している。

マスク不足の時期でもあり市民からは大変喜ばれた。また、ハンドメイドの方々の製造によるマスクは、種々工夫がされたマスクが多くリピーターができた。



⑩まちの駅 2 階スペースの活用

まちの駅 2 階の住居スペースを活用し L f M (Life for Mothers) に無償で事務所として賃貸している。L f M は、子育てママのフリースペースの運営や小学生を対象にした放課後まなびの広場の事業を展開している。

これらの事業については、活動の方向性が社団の事業目的とも同方向であることなどから事業支援している。

また、L f M の独自事業として、マタニティアタッチメントヨガ事業、Z o o M 講座事業、ベビーマッサージ事業などを行い、子育てママなどが事業参加している。

⑪公的事業への参画と協力推進

伊達市の新型コロナ対策事業の「プレミアム 4 じもと応援券」の販売所及び取扱店となり、地域経済活性化に寄与した。

応援券の販売を 7 月 27 日～8 月 10 日まで行い、1,974 セットを販売した。また、応募券の販売第 2 弾の 9 月 6 日～9 月 10 日までの販売へも協力し、取扱総件数は、2,179 セットとなった。

⑫商店街の環境美化の推進

昨年来実施している商店街への集客 UP 事業のプランター花植え設置を春と晩秋に支援した。

これは、個店の前にプランターの花を飾り、商店街の美化に努め集客環境を向上させるもので、併せてイベント広場の花壇整備も進めた。

(2) まちなかカフェ「ふらっと」の運営と事業者支援

①まちなかカフェ「ふらっと」で営業する起業希望者の支援

まちなかカフェ「ふらっと」では、社団は場所や機材を貸し、経営は参加者の責任で行うことで営業している。コロナ禍により非常に厳しい営業状況が続いている。このような状況により、水曜日の事業者は 10 月末日をもって撤退した。

本年度の年間営業日は、173 日であった。経営的には、家賃や光熱水費などの費用がないことで営業を継続できているものの、人件費を賄うまでの経営状況にはないようである。これは、一週間の中でも短時間営業

業であることから材料費などに無駄が出ることがその要因のようだ。

営業内容により、曜日の影響も少なからずある。

《現在の“ふらっト”での営業状況》

- | | |
|---------|--------------|
| ○火曜日 | 甘味処（和菓子） |
| ○木曜・金曜日 | 十割手打ちそば |
| ○土曜日 | サンドウィッチ・スイーツ |



(3) 天王市事業

①天王初売事業として実施

令和3年1月2日、3日の天王初売り事業を「天王初市」事業と位置付けて行った。

新型コロナウイルス感染症の影響により商店街を利用される市民の減少傾向の中で、コロナ対策を講じながら実施した。新春お楽しみ抽選会の状況は、昨年に対し微減の状況であった。

(4) まちなか原っぱ事業

①敷地を芝生化する

旧伊達公民館の敷地跡を芝生化し子どもの遊びの支援をしている。

日常的に子ども同士や家族など多数の方が場を利用している。



②仮設トイレの設置

原っぱに手洗い場や仮設トイレを設置し、原っぱ利用者の利便に供している。トイレは、防犯上の観点から午前9時過ぎから夕方6時過ぎまでの開放に留めている。



③原っぱイベントの見合わせ

原っぱから商店街への回遊を目指してイベントを実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため原っぱイベントは見合わせている。

(5) 商店街の新たな試み事業

①真空包装機利用による商品販売事業

商店街の個店において試験的に真空包装機利用による惣菜商品を販売している。

商品は、家庭料理の惣菜商品、その内容の工夫や手頃な量と価格の設定、簡単に湯煎して食べられることなどから高齢者に好評である。



②手打ちそば打ち体験事業の実施

まちの駅とまちなかカフェ宣伝のための
十割手打ちそばの店主による手打ちそば打ち体験事業を3回実施した。



③「天王あげまん」の企画・販売

商店街の活性化や地域伝統文化の情報発信を目指し、菓子店と共同で包装や販売方法や個数などを協議し、新たな商品の企画販売をした。

これは、天王様の名称、購入しやすい5個入り、コンパクトな袋売りなどの工夫をして、まちの駅限定品として月曜日水曜日、金曜日に限定販売している



3 官民連携まちなか再生推進事業

(1) 地域を繋げるソフト事業

①地域に伝わる昔話の紙芝居制作

子どもたちが地域を誇りに思えるよう、歴史、文化を分かりやすく伝える事業として地域に伝わる紙芝居2種を制作した。

ア、寛延三義民物語一天狗廻状

イ、西念さまのおはなし

この紙芝居は、地域の小学校やこども園に寄付した。

また、伊達交流館の事業として、伊達町郷土史研究会が紙芝居を利用した小学生の歴史講座が開催され紙芝居が活用されている。

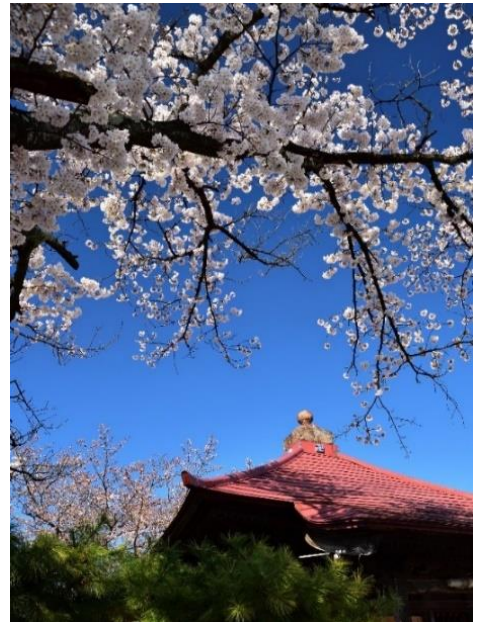


伊達こども園での贈呈の様子

②桜回遊フォトコンテストの実施

だて桜回遊事業 2020 と並行して伊達地域の桜の名所のフォトコンテストを実施した。

4 月末日まで募集し、11 点の応募があり、審査の結果、最優秀賞 1 点、優秀賞 3 点を決定し 6 月 15 日～30 日までの期間、まちの駅で展示会を行い、多くの市民が鑑賞に訪れた。



最優秀賞 「爽快」 撮影：小野孝雄さん

③長岡天王祭写真作品及び復興道路見学会の写真展示会の開催

令和 2 年の長岡天王祭が中止になったことから、地元の写真愛好会の協力を得て、これまで撮りためた長岡天王祭の写真展を開催した。

また、伊達桑折インターチェンジ開通に合わせて 7 月 10 日に実施した復興道路見学会における復興道路の様子などの写真展を実施した。写真展は、7 月 21 日から 7 月 31 日まで実施した。

④だて de フォトコンの実施

復興道路と国道4号のICの完成等、地域の変わりゆく風景等の「一コマ」を撮影し語り継ぐため「だて de フォトコン」を実施した。

伊達地域の今を広く市民に広める事業として、伊達地域の市民に周知し、令和3年2月末日までに8件の応募があり、3月26日に審査会を行い31日に表彰式を行った。写真展は、次年度の桜回遊フォトコンテストに併せて行う予定である。



最優秀賞「疾風のごと」撮影：小野孝雄さん

(2) 天王広場事業

伊達地域の天王通りを中心とした「まちなか原っぱ」、「天王通りの結束空地」、「福島信用金庫伊達支店」等の関係性を結ぶための利用形態を検討してきた。このなかで、官民連携による準公共施設などの拠点施設や「天王広場」の創設を目指すこととされている。

しかしながら、関係者間の考え方に温度差があり事業は進んでいない。

(3) まちなか高齢者住宅事業

歩いて買い物ができるような天王通り商店街を目指し、商店街周辺に官民連携のまちなか高齢者住宅の建設を検討してきた。

建設用地や建設費用などについて、行政の政策や支援が必要なことから具体的な事業は進んでいない。

4 健幸に満ちた誇れる地域づくり、まちづくり事業

(1) だて桜回遊事業2020の実施

地域の桜名所を徒歩で巡り健幸な生活を目指し、まちの再発見をする事業で4月中に100名余の参加があった。

参加者には、伊達地域のサクラスタンプ会のお買物券を進呈した。



(2) 伊達市減塩推進応援店に登録

伊達市が進めている減塩運動に参加し「伊達市減塩推進応援店」として、生活習慣病の予防と健康寿命を延ばすため野菜を食べることを周知、推進した。

(3) 熱田・八雲神社における七種粥のふるまい

熱田神社と八雲神社の両神社で、1月7日に行われる七種祭の伝統行事に併せ、無病息災と疫病退散のご利益を願い、七種粥及び天王銭を振舞った。新型コロナの影響もあり、来客数は昨年度に比し半減した。

(4) 地域関係機関、行政からの要望事業の調査・検討・実施

①伊達桑折 IC 開通に伴う復興道路見学会の実施

この見学会を7月10日に実施した。

参加者は120名となり、当初の計画に追加して午前と午後に分けて実施した。

伊達市と福島河川国道事務所と連携を図り、新聞折り込みで広く募集を行ったので、定員を上回る応募があり、抽選により



参加者を決定し、東北本線、東北新幹線を渡る大きな架橋等、新たな県北地域発展の起爆剤となる基幹道路として期待される施設を見学した。

参加者は、開通前の架線橋などを歩き国土交通省係官の説明を聞き、地域発展へ大きく夢を膨らませた。

② J R伊達駅「駅なかプラザ」利活用の検討

伊達駅周辺の環境整備事業が終わり、伊達市の玄関としての伊達駅の役割等の検討を伊達市と協議を重ねた。

特に、既存の駅なかプラザ直売所を活用し、情報の発信や市の観光案内等も可能な施設運営とするために協議してきた。

また、伊達市への来訪者のためのコワーキングスペースを伊達市が新設する等、次年度の施設運営管理事業受託に向け協議を進め、観光案内、地元製品の販売、伊達市の情報発信に向け、J Rの伊達市玄関口としての役割を果たせるよう努めていく。



情報発信のチラシ等



気軽に仕事を!! コワーキングスペース

③ママノマのソフト事業について

ママノマのソフト事業について、地域での雇用拡大や子育てママの就労、子育て世代のコミュニティの拡大、補助金等に頼らない運営など今までの「まちの駅」や“ふらっと”での社会実験の成果など踏まえ伊達市や関係団体と協議してきた。

④堂の内区画整理事業への対応

堂の内地区の区画整理事業が認可され大型商業施設建設が進行するなか、隣接する商店街として、共存や個別化など様々な方策を検討するため関係機関と協議を行い、先進地を視察研修した。

今後は、商業施設設置者から地域貢献策などについて伊達市や関係機関と協議を行い、地域も共に繁栄できるような地域貢献施策を調査検討していく。

視察目的	店舗内での地域製品の販売状況	
視察研修	令和2年11月13日	
参加者数	8名（商工会、伊達市、区画整理、社団等）	
視察場所	イオンモール盛岡	イオンモール盛岡南 あたら伊達な道の駅

⑤2月13日の福島沖地震の被害等

施設内の陳列製品や什器等について、大きな被害はなかったが、揺れによる施設の壁板等の剥離が1階南側に散見され、東側玄関の壁の一部に剥離が生じた。また、施設東側の3段積みのブロック塀が倒壊したが、周辺への影響はなかった。施設の地震による修繕等は、基本的には貸主に協議して行う。

⑥復興道路開通見学会の協議

3月下旬に予定されていたが福島相馬道路の完成にあたり伊達桑折ICから霊山ICまでの区間の完成見学会を実施するため福島河川国道事務所や伊達市高速道路推進室と協議を重ねてきたが、2月13日の福島沖地震の影響で延期された。

次年度の実施に向け、関係機関と協議を進めた。

⑦賀詞交換会の開催協議

地域事業者の各種情報交換や情報提供を行うため昨年に引き続き賀詞交換会の開催について協議を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためやむなく本年は中止した。

(5) その他（新型コロナウイルス感染症対策）

①新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、商店街の店舗内のアルコール消毒液とスプレーボトルのセットを斡旋、購入支援した。

また、新型コロナウイルス感染症対策のチラシなどを適時配布し、感染防止対策の徹底の啓発に努めてきた。

②まちの駅関連事業者への支援

ふらっと事業者やハンドメイドレンタル出展者に対し、新型コロナウイルス感染症対応による休業や来訪者減に伴う措置として、休業見舞いや利用料金の減額措置などを講じた。

③施設の新型コロナウイルス対策について

新型コロナウイルス対策のため、施設において各種の対策用機材を調達し感染拡大防止対応した。

調達した内容は、手指消毒液、施設消毒用消毒液、非接触型自動体温計、手指消毒用自動噴霧装置、足踏み式消毒用自動噴霧装置、除菌併用加湿器、対面防止アクリル板、冷暖房空調設備などを調達し防止対策を講じた。

施設利用に際しては、来客者に「密」を避けるような施設利用の協力を願いその徹底を図った。

④新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策として、県や市の対策に呼応してまちの駅の営業時間を短縮し営業した。また、手指の消毒液の設置や机の配置を工夫し適度な距離を設けた。

これらにより、福島県の新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金及び支援金を受けた。